



# よ坊さんだより

▼28▲

歯周病という口の中だけの病気と思われるかもしれませんが、実は歯周病が全身疾患に大きく関わっていることがわかってきています。

たとえば誤嚥性肺炎。食べ物や水分、口の中や喉からの分泌物、逆流した胃液などを誤って気道に吸引してしまうことを誤嚥と言います。誤嚥の原因として生じ

た肺炎を誤嚥性肺炎と言います。これは口の中から肺の中に入り込んだ異物や細

し、高齢者や脳血管疾患などによって反射が低下した人の場合は、気管に入り込んだ異物を外に出すことが困難になります。すなわち感染源となる誤嚥量が多くなり肺炎を起こしやすくなるのです。

## 誤嚥性肺炎の危険

特に睡眠中はお口の中の

菌が増殖しやすく、気管に異物が入ったときの反射も低下します。したがって、睡眠中に歯周病菌を多く含んだ唾液を誤嚥すると肺炎を起す危険性が高くなるのです。ですから就寝前の

歯が一本もなく総入れ歯だったら心配ないと思われるかもしれませんが、歯がなくても入れ歯が汚れていては同じことです。入れ歯も綺麗に、清潔にしておくことが大切です。

菌などにより、肺に感染や炎症が生じた状態です。

細菌が増殖しやすく、気管に異物が入ったときの反射も低下します。したがって、

健康な若い人の場合、異物が気管に入り込むと、むせたり、激しくせき込んだりして、その異物を気管の外に出そうとします。しか

寝眠中に歯周病菌を多く含んだ唾液を誤嚥すると肺炎を起す危険性が高くなるのです。ですから就寝前の

### 歯周病⑥

次回は歯周病と早産・低体重児出産について説明します。

(京都府歯科医師会 広報 室次長 石原宗和)  
\*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。